

分析結果報告書〔6〕 1 / 2 2

4 底質試料 2 (ダイオキシン類) (「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」に規定する抽出方法)

機関コード	
機関名	
郵便番号	
電話番号	
国際的な認証等の取得 (複数回答可)	1 . ISO 9001 ~ 9003 2 . ISO 14001 3 . ISO/IEC 17025(ガド 25) 4 . M L A P 5 . 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者 (抽出操作) 氏名 経験年数 実績 (年間の分析試料数)	() () 年 ()
分析主担当者 (クリーンアップ操作) 氏名 経験年数 実績 (年間の分析試料数)	() () 年 ()
分析主担当者 (GC/MS操作) 氏名 経験年数 実績 (年間の分析試料数)	() () 年 ()
測定回数	()

注) 分析用試料のはかり取りからGC/MS等の測定までの一連操作を行った回数(1~5の整数)を記入する。
この測定回数分の分析結果を次の表(2/22~11/22)に記入する。例えば、1回測定の場合には、<1回目の分析結果>(2/22及び3/22)に記入し、<2~5回目の分析結果>(4/22~11/22)は記入しない。

分析結果報告書〔 6 〕 2 / 2 2

< 1 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注 1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注 2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
PCDDs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8 塩素化物	OCDD			
	PCDFs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5 塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF				
8 塩素化物	OCDF				
PCDDs 同族体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
PCDFs 同族体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計		PCDDs+PCDFs			

注 1) 前記 (1 / 2 2) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注 2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限) は有効数字 2 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔 6 〕 3 / 2 2

< 1 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)			
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値	
ノン オル ト 異 性 体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)				
		3,3',4,4'-TeCB (#77)				
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB (#126)				
モノ オル ト 異 性 体	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)				
		5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
			2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
			2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
	2,3,4,4',5-PeCB (#114)					
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)				
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)				
		2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)				
	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)				
	その他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)				
	計 (DL-PCB)	注3)				

注1) 前記(1/22)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限～定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト4異性体の和、「モノオルト」はモノオルト8異性体の和、「計(DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 1 回目の分析結果 (毒性当量: TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
		定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
T	TEQ (PCDDs 及び PCDFs) 注4)		-	-
E	TEQ (DL-PCB) 注4)		-	-
Q	計: TEQ (ダイオキシン類) 注4)		-	-

注4) TEQは、異性体の濃度に毒性等価係数(TEF)を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値及び定量下限未満で検出下限以上の値はそのままの値、検出下限未満のものは検出限界値の1/2とする。

TEFは、1997年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔 6 〕 4 / 2 2

< 2 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注 1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注 2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
PCDDs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8 塩素化物	OCDD			
	PCDFs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5 塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF				
8 塩素化物	OCDF				
PCDDs 同族体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
PCDFs 同族体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計		PCDDs+PCDFs			

注 1) 前記 (1 / 2 2) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注 2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限) は有効数字 2 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔 6 〕 5 / 2 2

< 2 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)			
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値	
ノン オル ト 異 性 体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)				
		3,3',4,4'-TeCB (#77)				
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB (#126)				
モノ オル ト 異 性 体	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)				
		5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
			2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
			2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
	2,3,4,4',5-PeCB (#114)					
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)				
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)				
		2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)				
	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)				
	その他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)				
	計(DL-PCB)	注3)				

注1) 前記(1/22)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限～定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト4異性体の和、「モノオルト」はモノオルト8異性体の和、「計(DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 2 回目の分析結果 (毒性当量: TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
		定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
T	TEQ(PCDDs及びPCDFs) 注4)		-	-
E	TEQ(DL-PCB) 注4)		-	-
Q	計: TEQ(ダイオキシン類) 注4)		-	-

注4) TEQは、異性体の濃度に毒性等価係数(TEF)を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値及び定量下限未満で検出下限以上の値はそのままの値、検出下限未満のものは検出限界値の1/2とする。

TEFは、1997年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔 6 〕 6 / 2 2

< 3 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注 1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注 2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
PCDDs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8 塩素化物	OCDD			
	PCDFs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5 塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF				
8 塩素化物	OCDF				
PCDDs 同族体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
PCDFs 同族体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計		PCDDs+PCDFs			

注 1) 前記 (1 / 2 2) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注 2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限) は有効数字 2 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔 6 〕 7 / 2 2

< 3 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
ノン オル ト 異 性 体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)			
		3,3',4,4'-TeCB (#77)			
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB (#126)			
	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)			
モノ オル ト 異 性 体	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
		2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)			
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)			
		2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)			
7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)				
その他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)			
	計 (DL-PCB)	注3)			

注1) 前記(1/22)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限～定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト4異性体の和、「モノオルト」はモノオルト8異性体の和、「計(DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 3 回目の分析結果 (毒性当量: TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
		定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
T	TEQ (PCDDs 及び PCDFs) 注4)		-	-
E	TEQ (DL-PCB) 注4)		-	-
Q	計: TEQ (ダイオキシン類) 注4)		-	-

注4) TEQは、異性体の濃度に毒性等価係数(TEF)を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値及び定量下限未満で検出下限以上の値はそのままの値、検出下限未満のものは検出限界値の1/2とする。

TEFは、1997年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔 6 〕 8 / 2 2

< 4 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注 1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注 2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
PCDDs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8 塩素化物	OCDD			
	PCDFs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5 塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF				
8 塩素化物	OCDF				
PCDDs 同族体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
PCDFs 同族体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計		PCDDs+PCDFs			

注 1) 前記 (1 / 2 2) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注 2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限) は有効数字 2 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔6〕 9 / 2 2

< 4 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)			
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値	
ノン オル ト 異 性 体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)				
		3,3',4,4'-TeCB (#77)				
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB (#126)				
モノ オル ト 異 性 体	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)				
		5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
			2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
			2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
	2,3,4,4',5-PeCB (#114)					
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)				
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)				
		2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)				
	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)				
	その他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)				
	計 (DL-PCB)	注3)				

注1) 前記(1/22)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限～定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト4異性体の和、「モノオルト」はモノオルト8異性体の和、「計(DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 4 回目の分析結果 (毒性当量: TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
		定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
T	TEQ (PCDDs 及び PCDFs) 注4)		-	-
E	TEQ (DL-PCB) 注4)		-	-
Q	計: TEQ (ダイオキシン類) 注4)		-	-

注4) TEQは、異性体の濃度に毒性等価係数(TEF)を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値及び定量下限未満で検出下限以上の値はそのままの値、検出下限未満のものは検出限界値の1/2とする。

TEFは、1997年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔 6 〕 10 / 22

< 5 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注 1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注 2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
PCDDs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8 塩素化物	OCDD			
	PCDFs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5 塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF				
8 塩素化物	OCDF				
PCDDs 同族体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
PCDFs 同族体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計		PCDDs+PCDFs			

注 1) 前記 (1 / 22) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注 2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限) は有効数字 2 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔6〕 11 / 22

< 5 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
ノン オル ト 異 性 体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)			
		3,3',4,4'-TeCB (#77)			
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB (#126)			
	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)			
モノ オル ト 異 性 体	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
		2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)			
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)			
		2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)			
7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)				
その他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)			
	計 (DL-PCB)	注3)			

注1) 前記(1/22)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限～定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト4異性体の和、「モノオルト」はモノオルト8異性体の和、「計(DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 5 回目の分析結果 (毒性当量: TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
		定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
T	TEQ (PCDDs 及び PCDFs) 注4)		-	-
E	TEQ (DL-PCB) 注4)		-	-
Q	計: TEQ (ダイオキシン類) 注4)		-	-

注4) TEQは、異性体の濃度に毒性等価係数(TEF)を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値及び定量下限未満で検出下限以上の値はそのままの値、検出下限未満のものは検出限界値の1/2とする。

TEFは、1997年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔6〕 12 / 22

<抽出>

試料のはかり取り量 注1)	1回目 2回目 3回目 4回目 5回目	() g () g () g () g () g メモ()
抽出方法 注2)	1. ソックスレー抽出 2. 湿泥 - ヘキサン抽出法 3. 湿泥 - ソックスレー抽出法	
ソックスレー抽出	溶媒 抽出時間 溶媒量 ろ紙の種類	トルエン () 時間 注) 16時間以上 () ml 1. セルロース 2. ガラス繊維 3. 石英 4. その他()
抽出液の濃縮	1. KD 2. ロータリーエバポレーター 3. その他()	
濃縮後の定容量(抽出液)	() ml	
クリーンアップ用の試料 (抽出液の分取量) 注3)	PCDDs及びPCDFs用() ml DL-PCB用() ml メモ()	
クリーンアップの添加 添加箇所	1. 添加する 2. 添加しない 1. 抽出前に添加(試料に添加) 2. 抽出後に添加(抽出液に添加) 3. その他()	

注1) 前記(1/22)で記入した測定回数分の試料量を記入する。また、PCDDs及びPCDFs用とDL-PCB用で異なる取り方を行った場合等には、「メモ」欄にその概要を記入する。

注2) 「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」に規定する抽出方法としては、ソックスレー抽出(16時間以上)、湿泥 - ヘキサン抽出法又は湿泥 - ソックスレー抽出法であり、それ以外の方法(例えば、高速溶媒抽出(ASE)等)の抽出方法で分析した場合には、分析結果報告書〔7〕に記入する。

注3) PCDDs及びPCDFs用とDL-PCB用に別々に取らなかった(いっしょとして取った)場合には、同じ数値を記入する。また、PCDDs及びPCDFs用とDL-PCB用で異なる取り方を行った場合等には、「メモ」欄にその概要を記入する。

<クリーンアップ>

A シリカゲルカラム等の処理	1. 行う 2. 行わない
A-1 硫酸処理	1. 行う 2. 行わない
A-2 シリカゲルカラムカラムファイバー	1. 行う 2. 行わない
A-3 多層シリカゲルカラムカラムファイバー	1. 行う 2. 行わない

B その他の操作(GC/MS分析用試料液の調製方法)	
B-1 アルミナカラムカラムファイバー(JIS K 0311の6.4.5のa))	1. 行う 2. 行わない
B-2 高速液体カラムカラムファイバー(JIS K 0311の6.4.5のb))	1. 行う 2. 行わない
B-3 活性炭カラムカラムファイバー(JIS K 0311の6.4.5のc))	1. 行う 2. 行わない
B-4 活性炭カラムカラムファイバー(活性炭カラムカラムファイバーを使用)	1. 行う 2. 行わない
B-5 ジメチルホルムジアン(DMSO)分配処理操作(JIS K 0311の6.4.5のd))	1. 行う 2. 行わない
B-6 アルミナカラムカラムファイバー(PCDDs及びPCDFs測定用とDL-PCB測定用に2分割しないで操作する)	1. 行う 2. 行わない
B-7 活性炭カラムカラムファイバーでPCDDs及びPCDFs測定用、アルミナカラムカラムファイバーDL-PCB測定用を調製(PCDDs及びPCDFs測定用とDL-PCB測定用に2分割後操作する)	1. 行う 2. 行わない
B-8 その他の処理	()

C 硫黄分除去の処理	
C-1 多層シリカゲルカラム(A-3と重複)	1. 行う 2. 行わない
C-2 抽出液中に銅(チップ又は粉状等)を入れる	1. 行う 2. 行わない
C-3 硝酸銀シリカゲルカラム	1. 行う 2. 行わない
C-4 銅(チップ又は粒状)カラム	1. 行う 2. 行わない
C-5 銅線(コイル状)を浸す方法	1. 行う 2. 行わない
C-6 その他	()
クリーンアップ方法(上記A~Cの組み合わせ) PCDDs及びPCDFs用	()
DL-PCB用 注4)	()
転用溶媒	1. ノナン 2. トルエン 3. デカン 4. イソオクタン 5. その他()
GC/MS分析用試料液 PCDDs及びPCDFs用	() µl
DL-PCB用	() µl

注4) 上記A~Cの記号を用いて記入する(PCDDs及びPCDFs用とDL-PCB用で同じ場合にはPCDDs及びPCDFs用に記入、異なっている場合には分けて記入する)。例えば、A-3多層シリカゲルカラムカラムファイバー、C-4銅(チップ又は粒状)カラム、B-4活性炭カラムカラムファイバー(活性炭カラムカラムファイバーを使用)の順での処理であれば、(A-3、C-4、B-4)と記入する。

分析結果報告書〔6〕 13 / 22

< GC / MS 1 >

対応物質 1 (複数回答可)	PCDDs及びPCDFs DL-PCB	1. 4 塩素化物 2. 5 塩素化物 3. 6 塩素化物 4. 7 塩素化物 5. 8 塩素化物 6. 4 塩素化物 7. 5 塩素化物 8. 6 塩素化物 9. 7 塩素化物
GC 1	型式	1. GC17シリーズ 2. GC2010シリーズ 3. 5890シリーズ 4. 6890シリーズ 5. TRACE GC 6. その他()
カラム 1	型式 内径 長さ 膜厚	1. Aquatic 2. BPX5 3. BPX50 4. BPX-DXN 5. CP-Sil88 6. DB1 7. DB5(MS) 8. DB17(MS) 9. HP1 10. HP5(MS) 11. HT8(PCB) 12. PTE5 13. RH12(MS) 14. Rt x 5(MS) 15. Rt x 50(MS) 16. Rt x 624 17. SP2331 18. TC5 19. その他() () mm () m () μm
昇温条件 1	初期 1 回目の昇温 2 回目の昇温 3 回目の昇温 4 回目の昇温 (5 回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()、温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 最終温度()、温度保持()分 回数()回
注入 1	量 注入口温度 注入方式	() μl () 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. パルスドスプリット 5. その他()
キャリアーガス 1	流量 注) 圧力 注)	() ml /分 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()
MS 1	型式	1. Auto Spec シリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ 4. JMS(2.3以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 6890シリーズ 10. QP5000シリーズ 11. QP5050シリーズ 12. QP2010 13. オートマスシリーズ 14. その他()
測定時の分解能 1		1. 10000未満 2. 10000~12000 3. 12000を超える
イオン化 1	方法 電圧 電流 イオン源温度	1. EI 2. その他() 1. 40V未満 2. 40~70V 3. 70Vを超える 1. 500 μA未満 2. 500~1000 μA 3. 1000 μAを超える ()

注) 流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔6〕 14 / 22

< GC / MS 2 >

対応物質 2 (複数回答可) DL-PCB	PCDDs及びPCDFs	1. 4 塩素化物 2. 5塩素化物 3. 6塩素化物 4. 7塩素化物 5. 8塩素化物 6. 4 塩素化物 7. 5塩素化物 8. 6塩素化物 9. 7塩素化物
GC 2 型式		1. GC17シリーズ 2. GC2010シリーズ 3. 5890シリーズ 4. 6890シリーズ 5. TRACE GC 6. その他()
カラム 2 型式		1. Aquatic 2. BPX5 3. BPX50 4. BPX-DXN 5. CP-Sil88 6. DB1 7. DB5(MS) 8. DB17(MS) 9. HP1 10. HP5(MS) 11. HT8(PCB) 12. PTE5 13. RH12(MS) 14. Rtx5(MS) 15. Rtx50(MS) 16. Rtx624 17. SP2331 18. TC5 19. その他()
	内径 長さ 膜厚	() mm () m () μm
昇温条件 2 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数		温度()、温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 最終温度()、温度保持()分 回数()回
注入 2 量 注入口温度 注入方式		() μl () 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. パルスドスプリット 5. その他()
キャリアーガス 2 流量 注) 圧力 注)		() ml /分 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()
MS 2 型式		1. Auto Spec シリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ 4. JMS(2.3.以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 6890シリーズ 10. QP5000シリーズ 11. QP5050シリーズ 12. QP2010 13. オートマスシリーズ 14. その他()
測定時の分解能 2		1. 10000未満 2. 10000~12000 3. 12000を超える
イオン化 2 方法 電圧 電流 イオン源温度		1. EI 2. その他() 1. 40V未満 2. 40~70V 3. 70Vを超える 1. 500 μA未満 2. 500~1000 μA 3. 1000 μAを超える ()

注) 流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔 6 〕 15 / 22

< GC / MS 3 >

対応物質 3 (複数回答可)	PCDDs及びPCDFs DL-PCB	1. 4 塩素化物 2. 5塩素化物 3. 6塩素化物 4. 7塩素化物 5. 8塩素化物 6. 4 塩素化物 7. 5塩素化物 8. 6塩素化物 9. 7塩素化物
GC 3	型式	1. GC17シリーズ 2. GC2010シリーズ 3. 5890シリーズ 4. 6890シリーズ 5. TRACE GC 6. その他()
カラム 3	型式 内径 長さ 膜厚	1. Aquatic 2. BPX5 3. BPX50 4. BPX-DXN 5. CP-Sil88 6. DB1 7. DB5(MS) 8. DB17(MS) 9. HP1 10. HP5(MS) 11. HT8(PCB) 12. PTE5 13. RH12(MS) 14. Rtx5(MS) 15. Rtx50(MS) 16. Rtx624 17. SP2331 18. TC5 19. その他() ()mm ()m ()µm
昇温条件 3	初期 1 回目の昇温 2 回目の昇温 3 回目の昇温 4 回目の昇温 (5 回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()、 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 最終温度()、 温度保持()分 回数()回
注入 3	量 注入口温度 注入方式	() µl () 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. パルスドスプリット 5. その他()
キャリアーガス 3	流量 注) 圧力 注)	() ml/分 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()
MS 3	型式	1. Auto Spec シリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ 4. JMS(2.3.以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 6890シリーズ 10. QP5000シリーズ 11. QP5050シリーズ 12. QP2010 13. オートマスシリーズ 14. その他()
測定時の分解能 3		1. 10000未満 2. 10000~12000 3. 12000を超える
イオン化 3	方法 電圧 電流 イオン源温度	1. EI 2. その他() 1. 40V未満 2. 40~70V 3. 70Vを超える 1. 500µA未満 2. 500~1000µA 3. 1000µAを超える ()

注) 流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔 6 〕 16 / 22

< GC / MS 4 >

対応物質 4 (複数回答可)	PCDDs及びPCDFs DL-PCB	1. 4 塩素化物 2. 5塩素化物 3. 6塩素化物 4. 7塩素化物 5. 8塩素化物 6. 4 塩素化物 7. 5塩素化物 8. 6塩素化物 9. 7塩素化物
GC 4	型式	1. GC17シリーズ 2. GC2010シリーズ 3. 5890シリーズ 4. 6890シリーズ 5. TRACE GC 6. その他()
カラム 4	型式 内径 長さ 膜厚	1. Aquatic 2. BPX5 3. BPX50 4. BPX-DXN 5. CP-Sil88 6. DB1 7. DB5(MS) 8. DB17(MS) 9. HP1 10. HP5(MS) 11. HT8(PCB) 12. PTE5 13. RH12(MS) 14. Rtx5(MS) 15. Rtx50(MS) 16. Rtx624 17. SP2331 18. TC5 19. その他() ()mm ()m ()µm
昇温条件 4	初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()、温度保持()分 速度()/分 到達温度() 温度保持()分 速度()/分 到達温度() 温度保持()分 速度()/分 到達温度() 温度保持()分 速度()/分 到達温度() 温度保持()分 最終温度()、温度保持()分 回数()回
注入 4	量 注入口温度 注入方式	()µl () 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. パルスドスプリット 5. その他()
キャリアーガス 4	流量 注) 圧力 注)	()ml/分 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()
MS 4	型式	1. Auto Spec シリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ 4. JMS(2.3.以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 6890シリーズ 10. QP5000シリーズ 11. QP5050シリーズ 12. QP2010 13. オートマスシリーズ 14. その他()
測定時の分解能 1		1. 10000未満 2. 10000~12000 3. 12000を超える
イオン化 4	方法 電圧 電流 イオン源温度	1. EI 2. その他() 1. 40V未満 2. 40~70V 3. 70Vを超える 1. 500µA未満 2. 500~1000µA 3. 1000µAを超える ()

注) 流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔6〕 17/22

< GC / MS 5 >

対応物質 5 (複数回答可) DL-PCB	PCDDs及びPCDFs	1. 4塩素化物 2. 5塩素化物 3. 6塩素化物 4. 7塩素化物 5. 8塩素化物 6. 4塩素化物 7. 5塩素化物 8. 6塩素化物 9. 7塩素化物
GC 5 型式		1. GC17シリーズ 2. GC2010シリーズ 3. 5890シリーズ 4. 6890シリーズ 5. TRACE GC 6. その他()
カラム 5 型式		1. Aquatic 2. BPX5 3. BPX50 4. BPX-DXN 5. CP-Sil88 6. DB1 7. DB5(MS) 8. DB17(MS) 9. HP1 10. HP5(MS) 11. HT8(PCB) 12. PTE5 13. RH12(MS) 14. Rt x 5(MS) 15. Rt x 50(MS) 16. Rt x 624 17. SP2331 18. TC5 19. その他()
	内径 長さ 膜厚	() mm () m () μm
昇温条件 5 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数		温度()、温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 最終温度()、温度保持()分 回数()回
注入 5 量 注入口温度 注入方式		() μl () 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. パルスドスプリット 5. その他()
キャリアーガス 5 流量 注) 圧力 注)		() ml /分 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()
MS 5 型式		1. Auto Spec シリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ 4. JMS(2.3以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 6890シリーズ 10. QP5000シリーズ 11. QP5050シリーズ 12. QP2010 13. オートマスシリーズ 14. その他()
測定時の分解能 5		1. 10000未満 2. 10000~12000 3. 12000を超える
イオン化 5 方法 電圧 電流 イオン源温度		1. EI 2. その他() 1. 40V未満 2. 40~70V 3. 70Vを超える 1. 500μA未満 2. 500~1000μA 3. 1000μAを超える ()

< 検量線の作成 >

検量線 PCDDs及びPCDFs 作成点数 作成範囲(濃度) 繰り返し数 DL-PCB 作成点数 作成範囲(濃度) 繰り返し数	() 最小() ng/ml ~最大() ng/ml () () 最小() ng/ml ~最大() ng/ml ()
標準物質(液) PCDDs及びPCDFs 製造メーカ 開封後の月数 DL-PCB 製造メーカ 開封後の月数	1. CIL 2. Wellington 3. その他() ()月 1. CIL 2. Wellington 3. その他() ()月
装置安定性 感度変動 保持時間変動	() % () %

注) 流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔 6 〕 18 / 22

< 内標準物質 (PCDDs 及び PCDFs) の添加量と回収率 > (使用した内標準物質に対応する欄に記入する)

塩素数	内標準物質	クリンアップ剤		リソ剤
		添加量 (n g)	回収率 (%)	添加量 (n g)
4 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4-TeCDD			
	¹² C ₆ ¹³ C ₆ -1,2,3,4-TeCDD			
	¹³ C ₁₂ -1,3,6,8-TeCDD			
	¹³ C ₁₂ -2,3,7,8-TeCDD			
	³⁷ Cl ₄ -2,3,7,8-TeCDD			
5 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,7,8-PeCDD			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,7-PeCDD			
6 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,7,8-HxCDD			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,6,7,8-HxCDD			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,7-HxCDD			
7 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
8 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD			
4 塩素化物	¹³ C ₁₂ -2,3,7,8-TeCDF			
	¹² C ₆ ¹³ C ₆ -2,3,7,8-TeCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4-TeCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,7,8-TeCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,3,6,8-TeCDF			
5 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,7,8-PeCDF			
	¹³ C ₁₂ -2,3,4,7,8-PeCDF			
	¹² C ₆ ¹³ C ₆ -2,3,4,7,8-PeCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6-PeCDF			
6 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,7,8-HxCDF			
	¹² C ₆ ¹³ C ₆ -1,2,3,4,7,8-HxCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,6,7,8-HxCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,7,8,9-HxCDF			
	¹³ C ₁₂ -2,3,4,6,7,8-HxCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,9-HxCDF			
7 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	¹² C ₆ ¹³ C ₆ -1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,7,8,9-HpCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,8,9-HpCDF			
8 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF			
その他	()			
	()			

分析結果報告書〔 6 〕 19 / 22

＜内標準物質（DL-PCB）の添加量と回収率＞（使用した内標準物質に対応する欄に記入する）

塩素数	内標準物質	クリンアップサンプル		リンスアップサンプル
		添加量 (ng)	回収率 (%)	添加量 (ng)
4 塩素化物	¹³ C ₁₂ -3,4,4',5-TeCB(#81)			
	¹³ C ₁₂ -3,3',4,4'-TeCB(#77)			
	¹³ C ₁₂ -2,3',4',5-TeCB(#70)			
	¹³ C ₁₂ -2,2',5,5'-TeCB			
5 塩素化物	¹³ C ₁₂ -3,3',4,4',5-PeCB(#126)			
	¹³ C ₁₂ -2',3,4,4',5-PeCB(#123)			
	¹³ C ₁₂ -2,3',4,4',5-PeCB(#118)			
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4'-PeCB(#105)			
	¹³ C ₁₂ -2,3,4,4',5-PeCB(#114)			
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',5,5'-PeCB			
	¹³ C ₁₂ -2,2',4,5,5'-PeCB			
6 塩素化物	¹³ C ₁₂ -3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)			
	¹³ C ₁₂ -2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)			
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)			
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)			
	¹³ C ₁₂ -2,2',3,4,4',5'-HxCB			
7 塩素化物	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)			
	¹³ C ₁₂ -2,2',3,4,4',5,5'-HpCB(#180)			
	¹³ C ₁₂ -2,2',3,3',4,4',5-HpCB(#170)			
その他	()			
	()			

分析結果報告書〔6〕 20/22

< 空試験値及び相対感度係数 (PCDDs 及び PCDFs) > (空試験値が検出されない場合には、その項目の欄は記入しない)

塩素数	分析項目	空試験値	相対感度係数	
		(pg/g に換算)	RRFcs	RRFrS
4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
	1,2,3,6,7,8-HxCDD			
	1,2,3,7,8,9-HxCDD			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
8 塩素化物	OCDD			
4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF			
5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDF			
	2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDF			
	1,2,3,6,7,8-HxCDF			
	1,2,3,7,8,9-HxCDF			
	2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF			
8 塩素化物	OCDF			

< 空試験値及び相対感度係数 (DL-PCB) >

塩素数	分析項目	空試験値	相対感度係数	
		(pg/g に換算)	RRFcs	RRFrS
ノン オ ル ト	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB(#81)		
		3,3',4,4'-TeCB(#77)		
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB(#126)		
	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)		
モノ オ ル ト	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB(#123)		
		2,3',4,4',5-PeCB(#118)		
		2,3,3',4,4'-PeCB(#105)		
		2,3,4,4',5-PeCB(#114)		
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)		
		2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)		
		2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)		
7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)			

分析結果報告書〔 6 〕 21 / 22

< 検出下限値 (PCDDs 及び PCDFs) >

塩素数	分析項目	検出下限		
		装置 (pg)	試料における (pg/g)	試料測定時 (pg/g) 注)
4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
	1,2,3,6,7,8-HxCDD			
	1,2,3,7,8,9-HxCDD			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
8 塩素化物	OCDD			
4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF			
5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDF			
	2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDF			
	1,2,3,6,7,8-HxCDF			
	1,2,3,7,8,9-HxCDF			
	2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF			
8 塩素化物	OCDF			

注) 「試料測定時の検出下限値」については、分析結果が検出下限未満であった場合に記入する。

< 検出下限値 (DL-PCB) >

塩素数	分析項目	検出下限		
		装置 (pg)	試料における (pg/g)	試料測定時 (pg/g) 注)
ノ ン オ ル ト	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB(#81)		
		3,3',4,4'-TeCB(#77)		
モ ノ オ ル ト	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB(#126)		
	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)		
モ ノ オ ル ト	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB(#123)		
		2,3',4,4',5-PeCB(#118)		
		2,3,3',4,4'-PeCB(#105)		
		2,3,4,4',5-PeCB(#114)		
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)		
2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)				
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)				
7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)			

分析結果報告書〔 6 〕 22 / 22

<測定質量数> (質量数は2つまで回答可)

塩素数	分析項目	質量数			
P C	4 塩素化物 TeCDD	1 . 319.8965	2 . 321.8936		
		3 . その他 ()			
D D	5 塩素化物 PeCDD	1 . 353.8576	2 . 355.8546	3 . 357.8517	4 . 357.8576
		5 . 389.8816 6 . その他 ()			
S	6 塩素化物 HxCDD	1 . 387.8186	2 . 389.8156	3 . 391.8127	
		4 . その他 ()			
	7 塩素化物 HpCDD	1 . 423.7767	2 . 425.7737	3 . 389.8156	
		4 . その他 ()			
	8 塩素化物 OCDD	1 . 457.7377	2 . 459.7348	3 . 423.7377	
		4 . その他 ()			
P C	4 塩素化物 TeCDF	1 . 303.9016	2 . 305.8987	3 . 317.9389	
		4 . その他 ()			
D F	5 塩素化物 PeCDF	1 . 339.8597	2 . 341.8568		
		3 . その他 ()			
S	6 塩素化物 HxCDF	1 . 373.8203	2 . 373.8207	3 . 375.8178	4 . 371.8237
		5 . その他 ()			
	7 塩素化物 HpCDF	1 . 407.7818	2 . 409.7788		
		3 . その他 ()			
	8 塩素化物 OCDF	1 . 439.7457	2 . 441.7428	3 . 443.7398	
		4 . その他 ()			
D L	4 塩素化物 TeCB	1 . 289.9224	2 . 291.9194	3 . 293.9165	
		4 . その他 ()			
P C	5 塩素化物 PeCB	1 . 323.8834	2 . 325.8804	3 . 327.8775	
		4 . その他 ()			
B	6 塩素化物 HxCB	1 . 357.8444	2 . 359.8415	3 . 361.8385	4 . 363.8358
		5 . その他 ()			
	7 塩素化物 HpCB	1 . 391.8054	2 . 393.8025	3 . 395.7995	
		4 . その他 ()			